



夢に向かって

第7号

【発行元：下野市立国分寺小学校長 鈴木伸一】 平成24年12月18日

聴き合ってやさしき風を流し、学び合って命を輝かせよう

自分の命は自分で守ろう

夢に向かって生きよう

❶ はじめに

平成24年も残すところ半月となりました。この冬はすでに初雪が降り、例年になく朝晩の寒さが厳しいように感じます。また、天気によって寒暖の差が大きく、そして「一雨ごとに寒さが増す」といわれる時季です。

いよいよインフルエンザのシーズンとなり県内でも学級閉鎖を行ったり市内でも罹患者が出たりしております。また、ノロウイルス等による感染性胃腸炎も心配されます。どうぞ、今後もお子様にしっかりとした手洗い・うがいを励行させるとともに、せきが出るときはマスクの着用を、具合が悪いときはご家庭での休養と医療機関への受診をお願いします。保護者の皆様もご自愛なされ忙しい師走を乗り切って、よいお年をお迎えください。

❷ 諸活動から

【冬休み前全校集会】

12月25日(火)冬休み前の全校集会に、2010年サッカーのワールドカップ南アフリカ大会や今年のロンドンオリンピックでのサッカーの試合で副審を務め世界各国のメディアから高い評価を受けたり、Jリーグの年間の表彰でも今回で5回目の最優秀副審賞を受賞したりするなど世界や国内で大活躍の国際副審・相楽亨(さくら・とる)さんに来ていただきお話しいたします。

本校のめあてである「進んで学び やさしく元気いっぱい 夢に向かって生きる」に関連したすばらしいお話を聞くことができるものと期待しております。

❸ お知らせ

【講演会より】

11月10日(土)栃木県家庭教育オピニオンリーダーの会南河内支部主催による「ドキュメンタリー映画『かすかな光へ』上映と大田堯(おたく・たかし 94歳 教育研究者 東京大学名誉教授ほか)先生のトーク」(国分寺公民館)を視聴してきました。ご参考まで、下記にその要旨を掲載します。

～「生きる」とは、「命」とは、基本的人権、個人の尊厳である。そして、およそすべての生きものの備えた生命の特質から考えると、「ちがうこと」「自ら変わること」「かかわること」の三つが重要である。

「ちがうこと」：皆、違っている。違っているところが特徴であり、その人ならではの個性である。他と比べるべきものではない。

「自ら変わること」：幼虫からさなぎ、さなぎから成虫になる昆虫のように、皆自ら変わる力をもっている。稲やりんごが自らどう変わろうとしているのか。その生命力に、少しだけ手助けしてやる。子ども一人ひとりも自ら変わる力をもっている。それを手助けするのが教育である。

「かかわること」：人間は一人では生きられない。かかわりがなければ、命はつながらない。かかわりの中に命がある。一人ひとりのちがいを受け入れかかわり合う。そして、新しいかかわりをつくり出していくところに、成長がある。

子の個性を大切に、子の自ら変わる力(生命力)を信じて、子の他とのかかわりを見守ったり、子と少しずつかかわる(手助けする)のが親や教師の役割である。～

ご意見・ご感想・地域の情報などをお寄せください。

直接お電話でも結構ですし、またお手紙ならばお子様をとおしてお届け頂くか、玄関の郵便受けをご利用ください。

